

微小粒子状物質等専門委員会の検討状況

- 本年 3 月より、中央環境審議会大気・騒音振動部会に、微小粒子状物質等専門委員会を設置し、現象解明と PM2.5 削減対策の検討を進めている。
- これまでに、専門委員会を 3 回開催し、越境大気汚染の寄与、国内の発生源情報、二次生成機構等に係る最新の知見について整理・検討した。
- 年度内に、「国内排出抑制策の在り方（中間取りまとめ）」を取りまとめる予定。

		主 な 内 容
第 1 回	3 月 12 日	<ul style="list-style-type: none"> ・大気環境保全に関するこれまでの取組について ・専門委員会の進め方について
第 2 回	5 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> ・現象解明に向けた取組（平成 26 年度）について ・PM2.5 の越境大気汚染の寄与について ・光化学オキシダントのモニタリングデータの解析結果について ・光化学オキシダントの環境改善効果を適切に示す指標案について
第 3 回	8 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> ・PM2.5 の発生源ごとの寄与割合に係る検討について ・これまでの施策の評価について ・光化学オキシダントの環境改善効果を適切に示すための指標案について
第 4 回	11～12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・PM2.5 の発生源ごとの寄与割合について ・これまでの施策の評価について ・国内における排出抑制策の在り方について
第 5 回	1～2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・国内における排出抑制策の在り方（中間取りまとめ）